

平成 1 7 年度

つうしんぼ

氏名 愛知 万博



氏名 愛知 万博

つ う し ん ぼ

教科	項目 番号	観点	評価				
			大変よく できました	よく できました	ふつう	もう一息	がんばり ましょう
楽しみ (3R)	1	飲食エリアなどでは使い捨て容器の使用を控えている				○	
	2	買い物時のレジ袋・紙袋や雨天時の傘袋を無駄に提供していない				○	
	3	9種類の分別が正しく実施されている			○		
エネルギー	4	十分な省エネ対策を行っている				○	
	5	再生可能エネルギーを十分に利用している			○		
自然保護	6	会場建設や会期中の交通などにより、地域の自然を破壊していない				○	
環境教育	7	本物の自然の中で五感を使った環境教育を行っている			○		
	8	環境問題への関心を促している			○		
交通	9	会場へのアクセスは環境に配慮されており、利用しやすい				○	
	10	会場内の移動手段は環境に配慮されており、利用しやすい				○	
食	11	会場内の飲食物は素材・産地・添加物などが表示されており、安全を確認できる				○	
	12	オーガニックや地元産の食材が十分に使用されている				○	
人にやさしい	13	休憩する場所、水飲み場、トイレ、バリアフリーアクセスなどの施設が十分に用意されている			○		
	14	入場料や会場内の飲食代、乗り物代などは適正な価格である				○	
	15	会場内の規則は適切であり、案内は親切である				○	
市民参加	16	市民参加が十分に行われており、市民の意見が反映されている				○	
総合	17	外国、企業、市民のパビリオンのレイアウトや広報は、バランスよく適切である				○	
	18	この万博は税金の使われ方として十分な価値がある				○	
	19	「自然の叡智」のテーマにふさわしい万博である				○	

所見
良かった点： ・ ごみの分別はボランティアの指導により、おおむね正しく行われていました。 悪かった点： ・ 飲食エリアでは、紙やプラスチックの使い捨て容器が多用されていました。生分解性プラスチックは土に還りますが、その製造には多くのエネルギーが使われます。リユースの食器を使用する努力が足りませんでした。また、買い物の際のレジ袋、雨天時の傘袋も削減の努力が見られませんでした。 ・ 部分的には、打ち水、ミスト、再生可能エネルギーの利用もされていましたが、全体で使用されるエネルギーに比較すると、もう少し努力が必要でした。 ・ 「安全性」を理由に外部からの弁当などの持込みを禁止していましたが、中で販売されている食べ物が安全であるとの根拠を来場者に示しておらず、環境に配慮した農産物の使用もほとんど見られませんでした。 ・ 別の「安全性」を理由に持込みが禁止されていたペットボトルは、結果的に場内で大量に購入、廃棄され、来場者の不満とごみの増加につながりました。 ・ 入場料、会場内の飲食代、乗り物料金などがどれも適正価格とは言えませんでした。 ・ 入口近くの一等地には企業パビリオン、最もアクセスの悪い場所に市民パビリオンが配置され、誰の目にも企業優先であることを印象づけました。
総合評価： この万博は、愛知県、中部地域の経済振興、インフラ整備には大いに寄与しました。しかしながら、多額の税金を投入し、開発行為を行い、資源エネルギーを使って開催しただけの価値があったのか、多くの来場者が疑問を感じています。「自然の叡智」というテーマはあまりにも崇高すぎたのではないのでしょうか。
今後の課題： 万博終了後、会期中の「ごみの総発生量」、「リサイクル率」、「電力使用量」、「温室効果ガス排出量」など様々なデータは、速やかに公表されるべきです。また、解体時における建築資材のトレーサビリティを確保し、必要に応じてその「取扱い業者」、「使途」、「リユース率・リサイクル率」の情報開示を行なうべきです。
評価した人
万博会場来場者(180 名) 国際環境 NGO FoE Japan